



ダイワファンドラップ セレクト・シリーズ

運用報告書サマリー 第16期
(2022年6月16日～2023年6月15日)

ダイワファンドラップ 日本株式セレクト

運用実績



当初設定日(07.11.1)～23.6.15

当ファンドおよび組入ファンドの当期中の騰落率および組入比率

	騰落率	組入比率	
		当学期初	当学期末
FW 日本株式セレクト	22.9%	98.8%	99.0%
J Flag 中小型株ファンド	22.6%	2.9%	2.8%
T&D/マイルストーン日本株ファンド	14.2%	3.0%	2.8%
大和住銀ニッポン中小型株ファンド	27.8%	3.0%	3.0%
ダイワスマート日本株ファンダメンタル・ファンド	27.5%	7.1%	3.1%
DIAM国内株式アクティブ市場型ファンド	22.8%	12.8%	9.0%
日本小型株フォーカス・ファンド	7.9%	2.9%	2.7%
ダイワ成長株オープン	24.4%	8.7%	9.0%
ニッセイJPX日経400アクティブファンド	27.0%	12.6%	11.1%
リサーチ・アクティブ・オープン	27.4%	8.7%	11.2%
損保ジャパン日本興亜ラージキャップ・バリュー・ファンド	23.8%	3.3%	3.0%
日本長期成長株集中投資ファンド	33.0%	6.8%	12.0%
ニッセイ日本株グロースファンド	25.1%	5.8%	5.0%
国内高配当株フォーカス	16.7%	7.0%	5.8%
日本株 EVI ハイアルファ	24.6%	10.3%	9.2%
日本大型株長期厳選投資 (追加)	16.8%	—	2.0%
グローバルX MSCIスーパーディビデンド-日本株式 ETF	22.7%	4.0%	7.4%

- 国内株式市場の上昇を受け、基準価額は上昇しました。
- 投資効率改善のため、「日本大型株長期厳選投資」を新規に組み入れました。

ダイワファンドラップ 外国株式セレクト

運用実績



当初設定日(07.11.1)～23.6.15

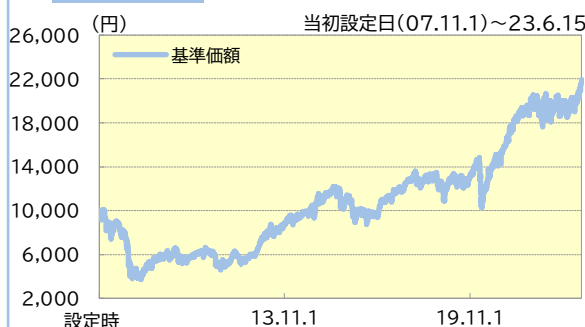
当ファンドおよび組入ファンドの当期中の騰落率および組入比率

	騰落率	組入比率	
		当学期初	当学期末
FW 外国株式セレクト	21.4%	98.4%	98.1%
ニッセイ/アリアンツ・欧州グロース株式ファンド	30.6%	2.8%	3.0%
UBSグローバル・オポチュニティ(除く日本)株式ファンド	16.1%	8.8%	7.7%
ダイワ/ウエリントン・デュラブル・カンパニース戦略ファンド	22.0%	7.9%	5.7%
コクサイ計量株式ファンド (除外)	5.7%	12.6%	—
ニッセイ/インターミッド・グローバル株式ファンド	17.1%	6.9%	8.8%
米国グロース株式ファンド (除外)	14.1%	7.0%	—
フランクリン・グローバル株式ファンド	22.8%	12.8%	10.9%
GIM米国大型バリュー株式ファンド	14.0%	4.0%	2.9%
ダイワ/ウエリントン欧州株ファンド	25.5%	2.1%	1.9%
ダイワ/GQGグローバル・エクイティ	9.6%	6.1%	5.9%
ニッセイ/サンダース・グローバルバリュー株式ファンド	27.3%	5.0%	6.9%
グローバル厳選株式ファンド	28.7%	2.0%	4.0%
アムンディ・米国大型株コア戦略ファンド (追加)	15.5%	—	9.0%
バリューパートナーズ高配当株式ファンド (除外)	△1.2%	0.9%	—
グローバル・フォーカス・グロース・エクイティ・ファンド クラスI (円建)	24.6%	5.7%	7.8%
キャピタル・グループ・ニューバースペクティブ・ファンド(LUX)クラスP(円建) (追加)	9.1%	—	9.9%
グローバルX ESG 経営企業 ETF(米国籍、米ドル建)	21.7%	13.8%	13.7%

- 海外株式市場の上昇や為替相場が円安となったことから、当ファンドの基準価額は上昇しました。
- 投資効率改善のため、「コクサイ計量株式ファンド」、「米国グロース株式ファンド」、「バリューパートナーズ高配当株式ファンド」を除外した一方、「キャピタル・グループ・ニューバースペクティブ・ファンド(LUX)クラスP(円建)」、「アムンディ・米国大型株コア戦略ファンド」を新規に組み入れました。

ダイワファンドラップ 外国株式セレクト エマージングプラス

運用実績



当初設定日(07.11.1)～23.6.15

当ファンドおよび組入ファンドの当期中の騰落率および組入比率

	騰落率	組入比率	
		当学期初	当学期末
FW 外国株式セレクト エマージングプラス	18.5%	98.5%	98.8%
ニッセイ/アリアンツ・欧州グロース株式ファンド	30.6%	2.1%	2.4%
UBSグローバル・オポチュニティ(除く日本)株式ファンド	16.1%	7.0%	6.2%
ダイワ/ウエリントン・デュラブル・カンパニース戦略ファンド	22.0%	6.4%	4.6%
コクサイ計量株式ファンド (除外)	5.7%	10.1%	—
ニッセイ/インターミッド・グローバル株式ファンド	17.1%	5.4%	7.1%
米国グロース株式ファンド (除外)	14.1%	5.3%	—
フランクリン・グローバル株式ファンド	22.8%	10.2%	8.7%
GIM米国大型バリュー株式ファンド	14.0%	3.3%	2.2%
ダイワ/ウエリントン欧州株ファンド	25.5%	1.7%	1.5%
ダイワ/GQGグローバル・エクイティ	9.6%	5.0%	4.7%
ダイワ/ウエリントン新興国EX戦略株式	8.2%	6.3%	4.7%
ニッセイ/サンダース・グローバルバリュー株式ファンド	27.3%	4.0%	5.6%
グローバル厳選株式ファンド	28.7%	1.5%	3.2%
アムンディ・米国大型株コア戦略ファンド (追加)	15.5%	—	7.2%
バリューパートナーズ高配当株式ファンド	8.6%	0.8%	3.9%
アディティブ・アズ・インテグレーション・マーキング・マカツ・エクイティ・ファンド	5.8%	6.9%	5.8%
マン・ニューメリック・エマージング・マーケット・エクイティ クラスI	7.1%	7.1%	4.9%
グローバル・フォーカス・グロース・エクイティ・ファンド クラスI (円建)	24.6%	4.3%	6.4%
キャピタル・グループ・ニューバースペクティブ・ファンド(LUX)クラスP(円建) (追加)	9.1%	—	8.0%
グローバルX ESG 経営企業 ETF(米国籍、米ドル建)	21.7%	11.1%	11.6%

- 海外株式市場の上昇や為替相場が円安となったことから、当ファンドの基準価額は上昇しました。
- 投資効率改善のため、「コクサイ計量株式ファンド」、「米国グロース株式ファンド」を除外した一方、「キャピタル・グループ・ニューバースペクティブ・ファンド(LUX)クラスP(円建)」、「アムンディ・米国大型株コア戦略ファンド」を新規に組み入れました。

ダイワファンドラップ 日本債券セレクト

運用実績



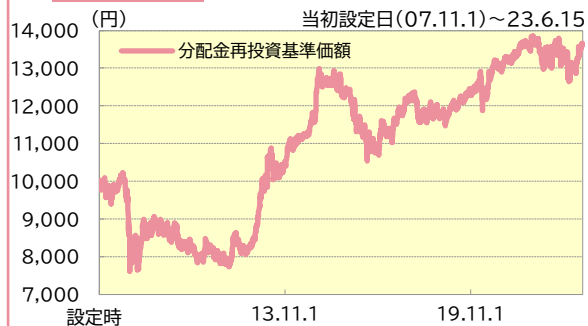
当ファンドおよび組入ファンドの当期中の騰落率および組入比率

	騰落率	組入比率	
		当学期初	当学期末
FW 日本債券セレクト	△1.1%	98.6%	98.4%
マニュアル日本債券アクティブ・ファンドM	△1.0%	19.8%	17.8%
明治安田日本債券アクティブ・ファンド	△1.3%	19.7%	15.8%
国内債券スイッチング戦略ファンド	△0.9%	6.0%	11.0%
ネオ・ジャパン債券ファンド	△0.9%	18.7%	17.6%
大和住銀日本債券アクティブ・ファンド	0.1%	16.8%	19.7%
りそな日本債券ファンド・コア・アクティブ	△0.7%	13.8%	14.5%
デンマーク・カバード債券ファンド (除外)	0.6%	1.0%	—
フィデリティ外国債券アクティブ・ファンド(為替ヘッジあり)	△3.5%	1.0%	1.0%
ネオ・ヘッジ付債券ファンド	△3.6%	1.9%	1.0%

- ・国内債券市場の下落を受け、基準価額は下落しました。
- ・投資効率改善のため、デンマーク・カバード債券ファンドを除外しました。

ダイワファンドラップ 外国債券セレクト

運用実績



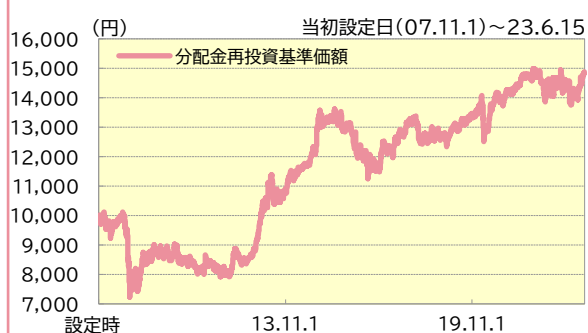
当ファンドおよび組入ファンドの当期中の騰落率および組入比率

	騰落率	組入比率	
		当学期初	当学期末
FW 外国債券セレクト	4.9%	98.1%	98.4%
プランティウィン外国債券ファンド	6.6%	4.0%	4.9%
ダイワ欧州債券ファンド	1.0%	4.7%	1.0%
ダイワ米国債券ファンド	2.4%	10.0%	4.8%
ダイワ/デカ欧州債券アクティブ・ファンド	7.4%	10.6%	10.9%
ダイワ中長期世界債券ファンド	2.1%	10.7%	6.8%
フィデリティ外国債券アクティブ・ファンド(為替ヘッジなし)	5.2%	8.8%	13.7%
ウエルトン・グローバル総合債券(除く日本)ファンド クラス Q5受益証券(円ヘッジ 無、分配金有)	4.5%	8.8%	12.8%
グローバル・コア債券ファンド	6.5%	12.9%	15.8%
ブルーベイ欧州総合債券ファンド	7.5%	8.6%	9.0%
ダイワ・コア・ボンド・ストラテジー・ファンド(ノンヘッジ・クラス)	5.3%	17.0%	14.7%
ロード・アベット・ハイイールド・ファンド クラスI-円建て累積投資クラス	7.8%	2.0%	4.0%

- ・海外債券市場で金利が上昇(債券価格は下落)したものの、為替相場が円安となったことから、基準価額は上昇しました。

ダイワファンドラップ 外国債券セレクト エマージングプラス

運用実績



当ファンドおよび組入ファンドの当期中の騰落率および組入比率

	騰落率	組入比率	
		当学期初	当学期末
FW 外国債券セレクト エマージングプラス	5.5%	98.1%	98.5%
I. ロウ・プライズ新興国債券オープンM	9.8%	10.0%	10.0%
プランティウィン外国債券ファンド	6.6%	3.3%	4.0%
ダイワ欧州債券ファンド	1.0%	3.8%	0.5%
ダイワ米国債券ファンド	2.4%	7.9%	3.9%
ダイワ/デカ欧州債券アクティブ・ファンド	7.4%	8.4%	8.8%
ダイワ中長期世界債券ファンド	2.1%	8.4%	5.4%
フィデリティ外国債券アクティブ・ファンド(為替ヘッジなし)	5.2%	7.0%	11.0%
ウエルトン・グローバル総合債券(除く日本)ファンド クラス Q5受益証券(円ヘッジ 無、分配金有)	4.5%	7.0%	10.2%
グローバル・コア債券ファンド	6.5%	10.2%	12.7%
ブルーベイ欧州総合債券ファンド	7.5%	6.9%	7.1%
エマージング・マーケット債券ファンド	7.6%	9.9%	10.0%
ダイワ・コア・ボンド・ストラテジー・ファンド(ノンヘッジ・クラス)	5.3%	13.6%	11.7%
ロード・アベット・ハイイールド・ファンド クラスI-円建て累積投資クラス	7.8%	1.7%	3.2%

- ・海外債券市場で金利が上昇(債券価格は下落)したものの、為替相場が円安となったことから、基準価額は上昇しました。

ダイワファンドラップ J-REITセレクト

運用実績



当ファンドおよび組入ファンドの当期中の騰落率および組入比率

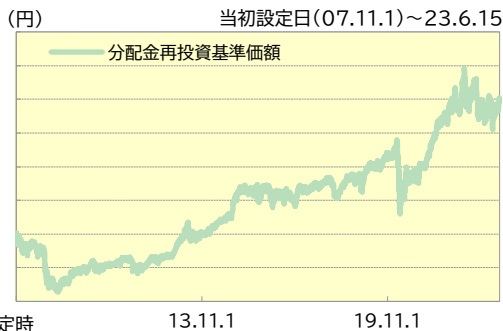
	騰落率	組入比率	
		当学期初	当学期末
FW J-REITセレクト	△0.6%	98.9%	98.9%
ダイワ・J-REITファンド	△0.0%	89.0%	84.1%
SMDAM・リート・アクティブ・ファンド	△0.6%	9.9%	14.8%

- ・国内リート市況の下落を受け、基準価額は下落しました。
- ・国内リート市況は、当学期初より、海外でのインフレ懸念の一部後退や長期金利の低下などから、上昇基調で始まりました。その後も、パウエルFRB(米連邦準備制度理事会)議長の発言により米国の利上げペース鈍化の可能性も意識されたことに加え、2022年8月下旬には、日本政府が新型コロナウイルス対策の水際対策の緩和などを発表したことなどから、上昇基調で推移しました。しかし9月下旬には、欧米を中心とした金融引き締めによる世界的な景気後退懸念から、米国の長期金利が上昇する中、他のリスク資産と同様に国内リート市況も下落しました。さらに10月は、公募増資の発表が相次いだことによる需給悪化などから、軟調な推移となりました。その後は割安感が意識され反発したものの、12月に日銀が金融緩和の見直しを発表すると下落しました。その後も国内金利の上昇懸念が高まったことや、2023年1月に入ると、公募増資の発表が相次いだことなどから国内リートの需給悪化が懸念され、売られる展開となりました。3月には、欧米金融機関の信用不安を受けて市場のリスク回避姿勢が強まり、軟調な推移となりました。しかし4月中旬から当学期末にかけては、住宅セクターを中心に好調な決算が発表されたことから上昇基調で推移しました。

ダイワファンドラップ 外国REITセレクト

当ファンドおよび組入ファンドの当期中の騰落率および組入比率

運用実績



ファンド	騰落率	組入比率	
		当作成期首	当作成期末
FW 外国REITセレクト	5.0%	98.2%	98.1%
ダイワ・グローバルREITファンド	5.4%	96.2%	96.5%
グローバルX スーパーディビデンド・世界リート ETF(米国籍、米ドル建)	5.0%	1.9%	1.6%

- ・為替相場が円安となったことが主因となり、基準価額は上昇しました。
- ・海外リート市況は、当作成期首より、インフレ懸念の一部後退や長期金利が低下したことなどから上昇基調で始まりました。2022年8月中旬にかけては、インフレのピークアウトが期待される中、良好な決算を発表した貸倉庫などを中心に上昇しました。しかしその後は、長期金利の上昇への警戒感などを背景に軟調な推移となりました。また9月下旬には、大規模な財政政策が発表されたことをきっかけに金融市場が混乱した英国に引きずられる格好で大きく下落しました。10月に英国が政権交代により大規模な財政政策を撤回したこと、また、10月半ば以降はFRB(米連邦準備制度理事会)が利上げ幅を縮小させるとの思惑などを受けて長期金利が低下したこと、やや持ち直しました。2023年1月には、米国の経済指標の結果を受けたインフレ圧力の緩和期待や長期金利の低下を支援材料に大きく上昇しました。しかし、2月には好調な経済指標を受けた米国の利上げ長期化観測が嫌気され、さらに3月に入ると欧米金融機関の信用不安から、銀行による貸出態度の厳格化観測や景気見通しの不透明感を受けた不動産市況の悪化懸念などを理由に下落しました。その後は、米国当局が必要に応じて支援を拡充する構えを示したことなどから、金融システムへの警戒感が後退する中で反発しましたが、4月以降当作成期末にかけては横ばい圏で推移しました。

ダイワファンドラップ コモディティセレクト

当ファンドおよび組入ファンドの当期中の騰落率および組入比率

運用実績



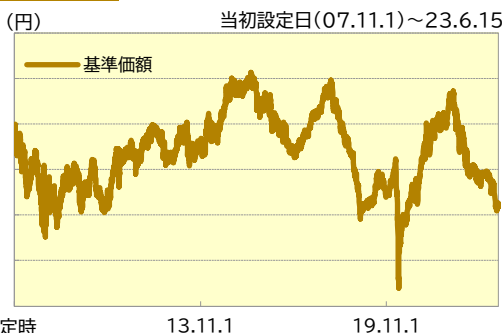
ファンド	騰落率	組入比率	
		当作成期首	当作成期末
FW コモディティセレクト	△16.2%	98.1%	98.4%
ゴールド・ファンド	10.5%	8.7%	8.9%
ダイワ"RICI"ファンド	△18.0%	89.4%	89.5%

- ・為替相場は円安となったものの、コモディティ(商品)市場の下落により、基準価額は下落しました。
- ・コモディティ市況は、当作成期首より、世界の中央銀行で金融引き締めが見込まれる中、景気後退期入りへの懸念が広がったことなどから、下落して始まりました。その後も、中国での新型コロナウイルスの感染拡大や、2023年世界経済成長率見通しの低位据え置きなどからエネルギー需要減少が懸念され、原油中心に下落基調となりました。2023年3月に入ると、世界的な金融不安の広がりから投資家のリスク回避姿勢が強まり原油中心に下落しました。その後は、金融不安が和らいだことなどから反発したものの、4月中旬以降は、景気の減速によって原油需要が伸び悩むとの見方が広がったことなどから下落し、当作成期末を迎えました。

ダイワファンドラップ ヘッジファンドセレクト

当ファンドおよび組入ファンドの当期中の騰落率および組入比率

運用実績



ファンド	騰落率	組入比率	
		当作成期首	当作成期末
FW ヘッジファンドセレクト	△1.6%	98.0%	97.9%
大和住銀FoF用ジャパン・マーケット・ニュートラル	0.7%	12.7%	16.0%
ニッセイ・グローバル・ボンド・オポチュニティ	△6.0%	5.9%	3.9%
M&Aアービトラージ戦略ファンド	△1.0%	11.7%	10.8%
UBSコモディティα戦略ファンド	(追加) △7.6%	—	5.8%
短期金利トレンドフォロー戦略ファンド	(追加) △3.1%	—	2.0%
マラソン新興国債券ファンド 市場リスクヘッジ・クラス	△0.5%	2.9%	1.0%
ブラックロックUKエクイティ・アブソリュート・リターン・ファンド	3.8%	10.8%	10.8%
JPMグローバル・マクロ・オポチュニティーズ(1クラス)(円ヘッジ)	△1.0%	3.9%	3.8%
イトー・バンス・インターナショナル(アヘラント)グローバル・マクロ・ファンド	2.0%	4.9%	5.9%
アトラス HJ JPY (円ヘッジ)	△0.2%	15.8%	11.5%
US株株 デュアルストラテジー・ショート・ロング・ファンド(1クラス)(円建て、円ヘッジ)	△8.5%	4.0%	2.0%
ブラックロック・アメリカズ・ダイバーシファイド・エクイティ・アブソリュート・リターン・ファンド クラスI 2円ヘッジ	0.9%	10.9%	10.8%
ナイン・シグマ・グローバル・マクロ・ストラテジー・オルタナティブズ・I 5C-1クラス	△2.7%	7.7%	7.7%
アトラス・ラバ・フォー・ユー・ビ・ストラテジー・オルタナティブズ I 5C-1クラス (除外)	△0.6%	1.9%	—
グローバル・ダイナミック・ボンド・ファンド I JPYヘッジクラス(円建)	△4.3%	4.8%	5.9%

- ・基準価額は下落しました。組入ファンドでは、ブラックロックUKエクイティ・アブソリュート・リターン・ファンド、ブラックロック・アメリカズ・ダイバーシファイド・エクイティ・アブソリュート・リターン・ファンド クラスI 2円ヘッジなどの上昇がプラス要因となった一方、UBSコモディティα戦略ファンド、US オポチュニスティック・ロング・ショート・エクイティ・ファンド(1クラス)(円建て、円ヘッジ)などの下落がマイナス要因となりました。
- ・投資効率改善のため、アルマ・プラチナ フォー・ユー・ビー・エス・マルチ・ストラテジー・オルタナティブズ I 5C-1クラスを除外した一方、UBSコモディティα戦略ファンド、短期金利トレンドフォロー戦略ファンドを新規に組み入れました。

※当期除外したファンドの騰落率は、当作成期首から除外時までの期間で算出しています。
 ※当期追加したファンドの騰落率は、追加時から当作成期末までの期間で算出しています。
 ※ダイワファンドラップ J-REITセレクトは特化型運用を行いません。
 ※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
 ※分配金は、収益配分方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。
 ※基準価額の計算において運用管理費用(信託報酬)は控除しています。
 ※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※上記の騰落率は、基準価額(分配金が支払われている場合は分配金再投資基準価額)の騰落率です。
 ※各ファンドの組入比率、騰落率は、各ファンドにおける組入資産の評価時点の数値です。また組入比率は対純資産総額の比率で、現金等の影響の為、合計が100%にならないことがあります。
 ※マザーファンド以外のファンドの中で「(FOFs用)」、「(適格機関投資家専用・限定)」等と表記のあるものは、省略しています。
 ※各ファンドのコメントは2023年6月15日時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、各ファンドが投資する有価証券等により異なりますので、お申込みにあたっては、各ファンドの「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファンドの費用 当ファンドのご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります。(消費税率10%の場合)

お客さまが直接的に負担する費用

	料率等	費用の内容	料率等	費用の内容
購入時手数料	ありません。	-	ありません。	信託財産留保額

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

	料率等				費用の内容
	ファンド名	運用管理費用(年率、税込)	ファンド名	運用管理費用(年率、税込)	
運用管理費用(信託報酬)	FW 日本株式セレクト	0.484%	FW ヘッジFセレクト	0.484%	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され、日々の基準価額に反映されます。お客さまが実質的に負担する運用管理費用の概算値は、下記の【運用管理費用(信託報酬)について]のとおりです。
	FW 外国株式セレクト		FW 日本債券セレクト	0.484%以内	
	FW 外国株式EM+		FW J-REITセレクト	0.374%	
	FW 外国債券セレクト		FW 外国REITセレクト		
	FW 外国債券EM+		FW コモディティセレクト		
その他の費用・手数料	「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。			監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。	

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。また、上場不動産投資信託は市場価格により取引されており、費用を表示することができません。※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。※ファンド名の「ダイワファンドラップ」をFW、「セレクト エマージングプラス」をEM+、「ヘッジファンドセレクト」をヘッジFセレクト等と略して表記することがあります。

【運用管理費用(信託報酬)について】

お客さまが実質的に負担する運用管理費用(信託報酬)の概算値(年率)は、以下のとおりです。(消費税率10%の場合)

※この値はあくまでも目安であり、ファンドの実際の投資信託証券の組入状況等によっては、実質的に負担する運用管理費用は変動します。

実質的に負担する運用管理費用の概算値(税込)	内 訳	
	運用管理費用(税込)	投資対象とする投資信託証券の運用管理費用等
FW 日本株式セレクト	1.0991%(0.7381%~1.3860%)程度	0.484%
FW 外国株式セレクト	1.2253%(0.9140%~1.5521%)程度	0.484%
FW 外国株式EM+	1.3064%(0.9140%~1.7340%)程度	0.484%
FW 日本債券セレクト	新発10年固定利付国債利回りが 1%未満の場合 0.4709%(0.4400%~0.7150%)程度 1%以上2%未満の場合 0.5050%(0.4400%~0.7150%)程度	0.484%以内
FW 外国債券セレクト	0.9745%(0.7821%~1.2340%)程度	0.484%
FW 外国債券EM+	1.0013%(0.7821%~1.2340%)程度	0.484%
FW J-REITセレクト	0.7321%(0.7040%~0.9845%)程度	0.374%
FW 外国REITセレクト	0.9785%(0.9540%~0.9790%)程度	0.374%
FW コモディティセレクト	1.3058%(0.6160%~1.3740%)程度	0.374%
FW ヘッジFセレクト	1.5263%(0.9821%~2.5040%)程度	0.484%

- *1 ただし、実績報酬制をとる投資対象ファンドの運用成果によっては、これを上回ることがあります。
 - *2 投資対象ファンドにおける運用管理費用の上限を示しております。国債利回り水準等により変動する投資対象ファンドの運用管理費用は、これを下回ることがあります。
- ※実質的に負担する運用管理費用は2023年1月時点の概算値であり、実際の組入状況等により変動します。

「ダイワファンドラップ セレクト・シリーズ」は、投資者と販売会社が締結する投資一任契約に基づいて、資産を管理する口座の資金を運用するためのファンドです。「ダイワファンドラップ セレクト・シリーズ」の購入の申込みを行なう投資者は、販売会社と投資一任契約の資産を管理する口座に関する契約および投資一任契約を締結する必要があります。

設定・運用は…



- 〈委託会社〉
- 商号等 大和アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
- 加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

当資料のお取扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメント株式会社が作成したものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。■分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。 (2023年9月作成) 4/4